

平成28年度教育委員会事務事業点検評価(平成27年度実施事務事業)評価表							
	整理番号	41		担当部課	生涯学習部	社会教育課	
事務	544812	人権施策推進事業					
事業	事業区分	実施計画事業	施策体系	544810	人権尊重意識の啓発活動の推進		
区分	必要性	非常に高い	有効性	非常に高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	学校教育関係者、社会教育関係者、一般市民						
事務事業目的	同和問題をはじめとする様々な人権問題の正しい理解と認識を深め、一人ひとりの人権が尊重され、差別のない明るい地域社会の実現を目指します。						
事務事業内容	学校教育や社会教育、企業などあらゆる場において、人権教育・啓発を計画的・継続的に推進します。						
実施形態	一部委託						
成果指標	人権教育に関する事業への参加者数						
活動指標	(活動指標1) 人権教育に関する事業件数 (活動指標2) (活動指標3)						
目 標 達 成 状 況		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	成果指標	予定	3,000	3,000	3,100	3,100	3,400
	単位: 人	実績	4,575	3,761	4,271	4,648	4,070
	活動指標1	予定	57	57	59	59	60
	単位: 件	実績	55	50	58	61	61
	活動指標2	予定					
	単位:	実績					
	活動指標3	予定					
	単位:	実績					
	トータルコスト	予定		6,624	7,500	5,525	7,342
(千円)	実績		6,448	7,434	5,503	7,059	
見直し実績							
事 務 事 業 評 価	必要性	人権に関する状況は複雑化・多様化しており、同和問題をはじめ、女性、子供、高齢者など、様々な人権問題が存在している。また、近年、いじめや児童虐待、インターネット上での個人に対する誹謗中傷など、新たな人権問題が発生しており、人権問題を解決するためには、本事業の必要性は高い。					
	有効性	様々な人権問題等に対応して、計画的・継続的に人権教育・啓発を推進していくことは、市民の人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権尊重意識の高揚を図るうえで、その有効性は高い。					
	効率性	学校教育と社会教育との連携をはじめとして、関係機関や関係団体が連携して、事業の効果的な推進に取り組んでいる。					
	方向性	差別のない明るい地域社会の実施に向けて、引き続き人権教育・啓発活動を推進していく。					

平成28年度教育委員会事務事業点検評価(平成27年度実施事務事業)評価表							
		整理番号	42		担当部課	生涯学習部 社会教育課	
事務	555012	文化活動促進事業					
事業	事業区分	実施計画事業	施策体系	555010	市民がつくる文化活動の促進		
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	市民						
事務事業目的	創造性豊かな市民文化の振興を目指して、市民の自主的な文化活動を促進します。						
事務事業内容	さやま茶をPRするとともに、日本の伝統文化である茶道に親しみ、理解を深めるため、さやま大茶会を開催します。また、学習成果の発表の場として、市民文化祭を開催するとともに、市民相互の交流を通じて、地域文化の発展を図るため、自主的に活動する文化団体の活動を支援します。						
実施形態	補助・負担、直営						
成果指標	市民文化祭来場者数とさやま大茶会茶席客数の合計						
活動指標	(活動指標1) 市民文化祭の参加団体数 (活動指標2) さやま大茶会茶席数 (活動指標3)						
目 標 達 成 状 況			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定	30,000	30,000	30,000	35,000	32,000
	単位: 人	実績	35,649	34,641	34,822	36,447	31,609
	活動指標1	予定	650	655	660	665	670
	単位: 団体	実績	650	655	655	657	636
	活動指標2	予定	13	13	13	13	13
	単位: 席	実績	12	11	14	14	13
	活動指標3	予定					
	単位:	実績					
	トータルコスト	予定		11,845	11,390	13,160	12,856
(千円)	実績		11,841	11,833	13,205	12,708	
見直し実績							
事 務 事 業 評 価	必要性	地域文化の振興を図るうえで、市民の自主的な文化活動を支援し、その活動の促進を図ることの必要性は高い。					
	有効性	市民文化祭来場者数とさやま大茶会茶席客数は予定値を上回っており、また、活動支援している文化団体連合会においても、市民芸術祭をはじめとして様々な文化活動を活発に実施しており、地域文化の振興を図るうえで、本事業の有効性は高い。					
	効率性	限られた予算のなかで、創意と工夫をこらして多種多様な文化活動が展開されている。					
	方向性	地域に根ざした文化の振興を図るうえで、本事業については、引き続き実施していく。					

平成28年度教育委員会事務事業点検評価(平成27年度実施事務事業)評価表							
		整理番号	43		担当部課	生涯学習部 社会教育課	
事務事業	555021	文化財保護事業					
	事業区分	実施計画事業	施策体系	555020	文化財の保存・継承と公開		
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	普通	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	埼玉県指定文化財・狭山市指定文化財等						
事務事業目的	郷土の貴重な文化財を後世に伝えるため、指定文化財を保存し、これを公開することや民俗芸能等の保存・継承に取り組む団体を支援することにより、市民の郷土の歴史や文化財に対する理解を深めるとともに、文化財愛護意識の高揚を図ります。						
事務事業内容	貴重な文化財を後世に残すため、指定文化財の所有者や保持者などを支援するとともに、民俗芸能等の保存・継承に取り組む団体の活動を支援します。						
実施形態	直営、一部委託、補助・負担等						
成果指標	市指定文化財の指定件数						
活動指標	(活動指標1) 民俗芸能などの保存継承件数 (活動指標2) 文化財講演会の参加者数 (活動指標3)						
目標達成状況		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	成果指標	予定	53	55	55	55	55
		実績	53	55	55	55	55
	活動指標1	予定	16	16	15	15	15
		実績	16	15	15	15	15
	活動指標2	予定	90	80	40	40	40
		実績	80	80	21	31	22
	活動指標3	予定					
		実績					
	トータルコスト(千円)	予定		22,165	23,985	17,312	18,534
実績			21,939	23,514	17,056	19,934	
見直し実績							
事務事業評価	必要性	郷土の貴重な文化財を後世に残すため、市にとって特に重要な文化財について指定を行うとともに、民俗芸能等の保存・継承に取り組む団体を支援することの必要性は高い。					
	有効性	指定文化財所有者や民俗芸能等の保存団体に補助金を交付することにより、文化財が適正に保存・継承されており、また、文化財の公開や文化財講演会等の開催により、市民の文化財に対する理解の醸成が図られており、文化財の保護や愛護意識の高揚を図るうえで、本事業の有効性は高い。					
	効率性	指定文化財の修理・保存等に要する経費に必要な補助金を支出することにより、適正な管理や保存がなされてきており、また、民俗芸能等の保存団体に対しても補助金を支出することにより、その保存と継承が図られてきている。なお、補助事業については、計画書を事前に徴取し、効率的な執行を図っている。					
	方向性	市内には他にも貴重な文化財があり、今後も必要に応じて、調査、保存処理、市指定を行っていく。また、民俗芸能等の保存団体に対しても、引き続き、活動を支援していく。					